

令和6年度 宮崎公立大学同窓会 凌雲なな会 4月議事録

[日 時] 令和6年度 4月12日(水)20:00 ~ 21:00

[会 場] オンライン開催

[出席者] 小林、黒木、富永、小松

[議長] 戸高 [書記] 加治屋

.....

1. 事務局報告

- ・経費処理
- ・推薦～前期 合格者向け入金処理
- ・後期 合格者向け書類対応
- ・入学式、卒業式の段取り(打ち合わせなど)
- ・卒業式 参列

2. 相談・報告事項

<3月22日 大学訪問>

参加者:辻学長、四方先生、戸高会長、小林副会長、加治屋

①30周年のお礼と振り返り

これまでは情報共有の薄さがあった。同窓会の窓口の部署があると嬉しいという同窓会の意見に対して、業務が増えるので難しいのではないかという意見があった。

また、大学の事務局が担当だと数年で変わっていくので、同窓会に関しては教員の方がいいのではないかという意見があった。そうすることで先生同士の交流も生まれるので、学部長が良いと思うと。

30周年に関して、学食でお酒を飲めるイベントにしたのもよかったという意見があった。

今後イベントという形であれば、学食を開放しても良いのではないかという意見も出た。

→学部長は4年程、長ければ8年ほど担当されることがあるので、大学の職員の任期より長くて良いのではないか。

→同窓会に関わりをもとうとしてくれる先生にお願いすると良いのでは？

→それだと属人的になってしまう可能性がある。仕組み化していくことで変わっていくことを期待したい。

②同窓会のこれからの役割について

同窓会の発展、在校生へのメリットを活かすために大学側と連携しながら出来ることを進めていきたい

特別会計について

—今回で全部使う訳ではない(会長ご説明)

—金額:平成30年繰越金額 合計¥21,237,344

—使い道:こちらについてどのような使い道があるのか検討したい

大学側の意見として、学生の研究発表の旅費、ローカルホッパーの賞金、ボランティア活動補助など、助成金を出せる場を作りたいという声が上がった。

また、条件として、HCDや凌雲祭で発表すること、みたいな工夫をすると活性化になるのではという声があがった。

支払いに関しては事後でも大丈夫とのこと。○ヶ月前までの申込なら前払い、それ以降は事後。

その他、企画として、『企業と学生のハッカソンやアイデアソン(飲食有りの開催を希望)が上がった。

また、イベントの時の飲食の助成があると嬉しい、学食がプレゼンの場になったら嬉しいなどの声も。

→学生の研究発表、ボランティア活動、学食で開催される学生イベント(課外活動例:ステージイベント、研究発表)の飲食助成金、について。

学生が前向きにされていることなので、進めていきたい。学生の主旨を汲み取ってあげたい。

→ローカルホッパーについて、同窓会の関わりも示せるので、進めていきたい。

→大学側への報告を行う。どのくらいの学生が対象になりそうか。1件あたりどのくらいの費用がかかりそうかと。同窓会側として、年間どの位まで出せるかの検討が必要。

人数に対して、上限を超えた申請があった場合、判断の流れをどうするか。また学生の企画に判断する必要があるか?その場合も流れの確認が必要。

大学の方にも参加してもらった方がいいか?(判断と情報共有の意味で)

→同窓会の基準と根拠を持って組織的に動いた方がいいと思う。

→企業と学生のハッカソンやアイデアソンについて。お仕事カフェも始めたばかりだし、ニーズの把握も必要なので、確認しながら進めていきたい。

→大学側がどういうイベントをやっている、どういうイベントに飲食が必要なのか、確認しながら進めていきたい。

③凌雲祭について

凌雲祭の運営体制が弱くなってきているのではないかという声に対して、コロナで間があいた事もあり、学生たちがどう動いていいか分からなくなっているとの意見が上がった。

担当は学生係だが、今の担当もコロナの時に入ってきているから当時の様子を知らない。

小規模な大学は学祭が活発になっていないという声もあるので、活性化させていくには大人の力が必要なのでは。学生任せにするにも道を作ってあげないといけないのではないかとこの意見に対して、同窓会側で出来ることとして、実行委員を集めて助成金に関する話と心構えについてお話しする場を作ると良いのではないかとのこと。また、他大学の大学祭の実行委員を視察する機会などがあると良いのではないかとこの意見もあった。

- 同じ規模位の大学を見ると良いかもしれないが、同じように苦戦している現状がある。アイデア出しをどうするのか、実務をどうするのかなど、話せると良い。
- 困った時にサポートする立場を作っておくのが良いのではないかと。仕組み作りが必要ではないか。
- 申請にあたり、企画書をもってそれにコメントをする。
- 新村さんにメンターをお願いできないか。
- 実行委員との意見交換会の場があると良いのでは
- 大学側に企画書を軸に実行委員とコミュニケーションをとっていき場を作りたい。大学側も企画書を見てフィードバックする場があると良いのではないかと提案する。

その他、上がった声として、年に2回程度このような打ち合わせの機会を設けると良いのではないかと声があった。(卒業、入学の時期に1回、ホームカミング日の頃に1回)

→対面での打ち合わせ年に2回開催。

また、図書館が欲しい。本が入り切らなくなっているという声もありました。

退官された先生方との関わりについて

→同窓会主催で講座をしてもいいのでは？卒業生だけではなく、市民のみなさまにも使っていただけると良いのでは。

グラウンドなど、大学の設備を活用できるといいのでは。

→公立大の桜をみんなで見よう！など。

→朝食を食べよう！のプログラムなど、すぐできることから始めても良いのでは。

<お仕事カフェについて>

就職課より、今年もランチ会を行う予定かどうかのお問い合わせがありました。

→開催の方向。続けていきたい。

3. 今後の事務局対応

- ・同窓会費入金処理
- ・卒業式、入学式

時間外活動手当について

役員氏名	活動内容	活動日時	活動時間	時間 累計	支給額 (累計 h x 1777)

◆次回役員会開催予定 : 場所、時間については 別途確認